

横浜市立幸ヶ谷小学校が「潮彩の渚」で環境学習を実施しました

1. 実施日及び参加者

令和2年10月2日(金)、14日(水)、16日(金) 4年生 98名(3日間×2班)

2. 実施場所

事務所構内 多目的プラザ及び潮彩の渚(人工干潟)

3. 概要

今年にはコロナ禍の中、その感染防止対策を行い実施しました。各日とも2班に分け、それぞれ交互に、多目的プラザにおいては、干潟の役割や東京湾にはどんな生き物が住んでいるのかを学びました。干潟においては、砂を掘ったり、石をひっくり返したりして見つけた貝やカニなどを採集して観察しました。また、水槽にあらかじめ採取した生き物を入れ、それらを観察しました。

今回、はじめて干潟の生き物に触れる子もおり、生き物を見つけ、観察する子供達の表情はとても豊かで印象的でした。子供達からは「ハゼがいた。」「カニをつかまえた。」「とても楽しかった。」「また来たい。」などの声が聞かれ、地元には沢山の生き物が生活していることや、海の環境について一層、関心をもっていただけました。



干潟について勉強



干潟の観察



採取した生き物の観察



採取した「カニ」

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所
〒221-0053 横浜市神奈川区橋本町 2-1-4
TEL:045-461-3892 FAX:045-461-3887
総務課長 赤坂